

ジェットスター・ジャパン、国内最安値の航空運賃を提供

運賃：1円

販売期間：4月17日(火)12:00から14:00まで

ジェットスター・ジャパンのすべての国内路線において提供

- **6つの路線すべてにわたる10,000席の片道航空券を1円で販売**
- **販売期間は4月17日(火)12:00から14:00まで**
- **超格安運賃は9月5日から12月4日までの便に利用可**
- **超格安運賃は東京(成田)-札幌(新千歳)/福岡(福岡)/沖縄(那覇)/大阪(関空)、および大阪(関空)-札幌(新千歳)/福岡(福岡)便に適用**

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木みゆき、以下、ジェットスター・ジャパン)は、本日、国内線航空券の発売開始を記念し、合計10,000席¹分を1円という超格安な片道運賃で提供することを決定しました。この超格安運賃は新たに運航される6つの路線すべてに適用され、本日、4月17日(火)12:00から14:00までの間でのみ販売されます。

(*1 6つの路線にて合計10,000席が1円にて提供されます。)

ジェットスター・ジャパンの代表取締役社長である鈴木みゆきは、「日本の非常に活発な旅行需要に応えるため、ジェットスター・ジャパンは直近の航空運送事業許可取得に続き、超格安運賃を本日限定で提供することとしました。このキャンペーンは家族や大切な人々との絆を深めることに貢献するという当社のミッションをご理解いただくためのものです。また、このキャンペーンは『最低価格保証』によるいつでもお得な格安運賃を提供するというジェットスターの基本理念の延長線上にあり、国内で最も人気のある6つの路線発表を記念するものです。このキャンペーンによって国内の空の旅が新たな時代に入ると確信しています」と述べています。

ジェットスター・グループのCEOであるブルース・ブキャナンはこれに付け加え、「ジェットスターの最低価格運賃によって日本国内での旅行需要が高まり、社会経済的な恩恵が5つの就航地を中

心に日本全体にもたらされると確信しています。ジェットスターは、LCC のパイオニアとして日本で 5 年以上の運航実績を持ち、ブランドを確立しているという優位性を有しています。この破格な格安運賃を通じて、日本中で、更に多くの人々の絆をつなげられることを楽しみにしています」と述べています。

上記の航空券は下記の特記事項に基づき弊社ウェブサイト jetstar.com にて販売されます。

<特記事項>

- ・フライトは、2012 年 7 月 3 日以降、順次運航開始予定。(関係当局の認可を前提)
- ・表示運賃は片道の料金です。
- ・対象渡航期間は、2012 年 9 月 5 日から 2012 年 12 月 4 日となります。
- ・表示運賃は、期間によっては設定がない場合がございます。
- ・支払手数料として、お一人様片道あたり 200 円が別途必要です。
- ・購入には JetMail 登録が必要です。
- ・払い戻しできませんが、変更手数料と運賃の差額を支払うことにより変更が可能です。
- ・表示運賃は機内持込手荷物 10kg*を含む片道の料金です。受託手荷物は含まれませんが、お客様お一人当たり片道毎に 15kg から 40kg まで有料(片道 900~3,000 円)で追加いただけます。
* 機内持込手荷物には、寸法を含め制限があります。要件を満たしていない手荷物は、受託手荷物としてお預けいただく必要があり、料金が課されます。
- ・フライトスケジュールなどの詳細や条項については弊社ウェブサイト jetstar.com をご参照ください。

※就航ルート・便数・通常価格については、本日発表の別リリースをご参照ください。

<ジェットスターグループについて>

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において最大の売上高を誇り、最も急速に成長している LCC(格安航空会社)です。ジェットスターグループは日本、シンガポール、ベトナム、オーストラリア、ニュージーランドに航空会社を有し、2013 年には香港(関係当局の承認を前提とする)にも設立予定です。ジェットスターグループ全体で、アジアの 30 都市及び中国の 8 都市を含むアジア太平洋地域の約 60 都市に週 3,000 便を運航しています。2012 年会計年度にはジェットスターグループ全体で 2,000 万人のお客様にご利用いただけると予想しています。

<ジェットスター・ジャパン株式会社について>

ジェットスター・ジャパンは 2012 年 7 月より東京、大阪、札幌、福岡、沖縄間に就航予定の LCC(格安航空会社)であり、2013 年中には短距離国際線の運航開始(関係当局の承認を前提とする)を予定しています。国内線就航時には、A320 型新造機 3 機(180 席)で運航を開始し、その後 3 年間で運航機材を 24 機まで増強する予定です。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリーリース株式会社が出資しています。